

**訪日外客数の増加に伴い、英語ができる人材のニーズ増
英語必須パート・アルバイト求人数が前年比 1.55 倍
時給中央値は 1,300 円（英語が必須ではない求人時給の 1.3 倍）
求人検索エンジン「スタンバイ」による求人動向調査**

株式会社ビズリーチ（所在地：東京都渋谷区/代表取締役社長：南 壮一郎）が運営する求人検索エンジン「スタンバイ」（<https://jp.stanby.com/>）は、英語や中国語など外国語が必須の求人の動向調査を実施しました。「スタンバイ」に掲載されるパート・アルバイト求人を対象に調査したところ、2018年12月に同サイトに掲載されたパート・アルバイト全求人231万件のうち、求人のなかに「英語必須」の単語を含む求人は前年同月比1.55倍（6万件）に増加していることがわかりました。また、「英語必須」の単語を含む求人の時給中央値は1,300円で、英語が必須ではない求人の時給中央値の1.3倍でした。この結果から、訪日外客数が増加するなか、英語ができるパート・アルバイトのニーズの高まりがうかがえます。
※本調査結果を引用する際は【求人検索エンジン「スタンバイ」調べ】とご記載ください。

求人検索エンジン「スタンバイ」掲載のパート・アルバイト求人：英語必須の有無の比較

	前年比(求人数)	時給中央値	求人件数
英語必須の求人	1.55 倍	1,300 円	6 万件
英語必須以外の求人	1.15 倍	1,000 円	225 万件

※2018年12月時点の数字

【スタンバイによる考察】

■ 訪日外客数の増加に伴い、販売員の求人で英語・中国語のニーズが増加

日本政府観光局によると、2018年の訪日外客数は前年比8.7%増の3,119万人で7年連続増加しています^(注1)。「スタンバイ」における英語必須のパート・アルバイト求人数も前年同月比1.55倍となっており、訪日外客数の増加に伴い、求人数も増加していることがわかります。なかでも、英語必須の販売員のパート・アルバイト求人は前年比で1.54倍（3,400件）、時給中央値は英語が必須ではない求人の1.2倍（1,200円）でした。

訪日外客数を国・地域別に見ると、中国が最も多く、前年比13.9%増の838万人（全体の27%）です。訪日外客の消費額を見ると、中国人の消費額は全体の34%を占めており^(注2)、消費におけるそのけん引力の強さがわかります。「スタンバイ」における中国語必須の販売員のパート・アルバイト求人数は前年比1.58倍（1,900件）で、時給中央値は中国語が必須ではない求人の1.1倍（1,100円）でした。また、販売員のパート・アルバイト求人数が前年比1.1倍（28万件）であるのと比較し、中国語・英語必須の販売員のパート・アルバイト求人数は増加しています。

■ 訪日外客の飲食費の増加に伴い、英語必須の飲食店関連の求人が増加

観光庁によると、2018年の訪日外客の飲食費は前年比10%増の9,758億円^(注2)です。「スタンバイ」においては、飲食店関連のパート・アルバイト求人数は前年比1.02倍（5万件）であるのに対し、英語必須の飲食店関連のパート・アルバイト求人数は前年比1.65倍（3,700件）となっています。

■ 「モノ消費」から「コト消費」へ。日本の美容院に行く訪日外客向け英語・中国語必須求人も

訪日外客のなかには、技術力の高い日本の美容院に行きたいというニーズもあり、日本の美容院を事前予約できる中国人旅行者向け美容ポータルサイトも存在します。「スタンバイ」における「美容院 英語

必須」または「美容室 英語必須」の単語を含むパート・アルバイト求人の時給中央値は1,300円で、英語が必須ではない求人の時給中央値の1.3倍（求人数は324件）、「美容院 中国語」または「美容室 中国語必須」の単語を含むパート・アルバイト求人の時給中央値は1,200円で、中国語が必須ではない求人の時給中央値の1.2倍（求人数は115件）となっています。これは、初訪日外客や団体観光客は「モノ消費」が中心なのに対し、富裕層や個人観光客の一部は「コト消費」へと興味が移ってきている表れであると思われます。実際、美容院に英語と中国語が話せる店員を置いたところ、中国人などの来店が増加したという事例もあるそうです。

今年の中国の春節（旧正月）は2月5日で、その前後を含め最大で7日間の連休となるため、2月は中国からの訪日外客が増加すると予想されます。2018年2月の中国人の訪日外客数は約71万6,000人^(注3)で、春節は日本のインバウンド産業に、大きな影響を与えています。また、政府は2020年に訪日外客数を4,000万人、その消費額を8兆円とする目標を掲げており、今後も英語・中国語必須の求人は増加すると予想されます。

(注1) 日本政府観光局 (JNTO) 「訪日外客数 2018年12月および年間推計値を発表 過去最高の3,119万2千人」
https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/data_info_listing/pdf/190116_monthly.pdf

(注2) 観光庁 「【訪日外国人消費動向調査】2018年全国調査結果（速報）」
<http://www.mlit.go.jp/common/001268656.pdf>

(注3) 日本政府観光局 (JNTO) 「2018年 訪日外客数（総数）」
https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/since2003_visitor_arrivals.pdf

【調査概要】

- ・調査日：2018年12月31日（比較データの調査日は2017年12月31日）
- ・調査日時時点で、複数の求人情報サイト、企業の求人ページ、ハローワーク等に掲載されているパート・アルバイト求人（全231万件）を対象に、求人のタイトルまたは本文に調査した単語を含むものを集計（比較した前年同日の調査対象求人は200万件）

■求人検索エンジン「スタンバイ」について

「スタンバイ」は、正社員、アルバイト・パート、派遣社員など、国内の全業種・全職種・全雇用形態を対象に、職種・業種などの「キーワード」や「勤務地」を指定し、複数の求人情報サイト、企業サイト、ハローワーク等の900万件以上の求人を一括で検索できるサービスです。全雇用形態を対象にしているため、自分に合った仕事を効率的に探せます。参照 URL：<https://jp.stanby.com/>

サービス名	スタンバイ
URL	パソコン/スマートフォン ブラウザ版 https://jp.stanby.com/
アプリダウンロード方法	・iOS版：「App Store」を選択→「スタンバイ」を検索 ・Android版：「Google Play」を選択→「スタンバイ」を検索
対応機種・ブラウザ	<アプリ> ・iOS版：iOS 9.0以降 ・Android版：Android 4.1以降 <ブラウザ版> ・Microsoft Edge（最新）、Internet Explorer 10以上、Apple Safari（最新）、Mozilla Firefox（最新）、Google Chrome（最新）
配信地域	日本
対応言語	日本語
利用料金	無料

■株式会社ビズリーチについて

「インターネットの力で、世の中の選択肢と可能性を広げていく」をミッションとし、2009年4月より、人材領域を中心としたインターネットサービスを運営するHR テック・ベンチャー。東京本社のほか、大阪、名古屋、福岡、シンガポールに拠点を持ち、従業員数は1,300名（2019年1月現在）。即戦力人材と企業をつなぐ転職サイト「ビズリーチ」や、挑戦する20代の転職サイト「キャリトレ」、人材活用プラットフォーム「HRMOS（ハーモス）」、求人検索エンジン「スタンバイ」、事業承継M&Aプラットフォーム「ビズリーチ・サクシード」などを展開。参照 URL : <https://www.bizreach.co.jp/>